

海老名市ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

令和4年7月12～15日の調査において測定したネットワーク速度について、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」を確保できている学校数は0校であり、総学校数19校に占める割合は0％となっている。ホームページ閲覧が可能であることなど、現地で状況を確認したが、動画閲覧に困難がある学校や、授業での実用には難がある点を多く確認した。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

近隣市の接続状況を聞き取り、良好に運用しているネットワーク提供者とプロバイダーの組み合わせを把握した。抽出した3校について、試行として接続方式をPPPoE方式からIPoE方式に変更し、追加で令和4年10月3日に負荷をかけた場面での調査を行い、改善方法について検討した。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

接続方式の変更の試行で、効果が見られたため、令和4年12月に補正予算を計上し、全校で接続方式とプロバイダーを変更することとした。

令和5年2月に全校の接続方式変更作業を実施し、プロバイダーを変更した結果、全校で一定以上の成果を得られた。さらに、高速ネットワーク接続が市内に導入された場合には通信契約も変更する方針とし、事業者の情報を集めていたところ令和6年度から市内全域で10Gbpsのサービスが提供されるとの情報があつたため、令和6年度上半期に通信契約の変更のための委託事業を予算化した。

（3）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

令和6年8月に通信契約の変更作業が完了し、市内19校の学習者用ネットワーク接続はベストエフォート方式の下り理論値10Gbpsの回線となった。

今後、各校からの接続速度の体感について情報を集めるとともに、入り口速度の測定を行い、令和7年度予算へのネットワークアセスメント調査費用の計上規模を検討する。